



「祭を復興の活力に」

国指定重要無形民俗文化財で、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている「青柏祭の曳山行事」が5月3日から5日にかけて開催され、多くの見物客でにぎわった。

鍛冶町・府中町・魚町の3台の山車「でか山」は、木遣り衆の「エンヤ」の掛け声と共に、子どもや大人に綱を曳かれながら街を練り歩く。巧みな梃子さばきで民家の軒をかすめながら進む様子は見物客を魅了し、90度方向転換する「辻廻し」が披露されると、拍手と歓声が響き渡った。

震災後、2度目の通常開催が叶った青柏祭。復興は道半ばだが、人々は今年も祭を開催できたことを喜び、七尾の街に笑顔の輪が広がった。

青柏祭で広がる 笑顔の輪